

## ■藩主のあるべき姿とは！？—「愚存(松平春嶽書状写)」—

福井藩主 松平慶永(春嶽、当時18歳)から弟の鑑丸(後の徳川慶臧、当時10歳)に送ったとされる書状の写です。

幼くして養子に出て尾張藩主になる鑑丸に、「物事は始めを慎むこと」「養父母を実家の父母と同様に大切にすること」「家臣から気に入らないことを言われても咎め立てしないこと」「領民には慈しみの心をもって接すること」など、藩主としての心得を説いています。弟が置かれた状況をわかった上で、きめ細かい心配りをしています。



▲吉野屋文書(当館蔵)1845年(弘化2)(部分) B0030-00458

\*\*\*\*\*

## ■講座案内■

### ◎文書館専門講座

#### 「ふくいの歴史資料を読み解く」

第1回「越前一向一揆と信長の攻防  
—五月二十日付羽柴秀吉書状をめぐる—」

日時：12月11日(日) 13:30~15:00

講師：藤井 譲治 氏(京都大学名誉教授)

会場：県立図書館多目的ホール

定員：70名 参加無料

※参加者には12月1日から文書館にて資料を配付します。

## ■郷土新聞作品展示■

期間：12月16日(金)～  
1月18日(水)

会場：文書館閲覧室

中学生が今年の夏休みに、郷土の地理や歴史をテーマに調査してまとめた郷土新聞の優秀作品を展示します。



## ■ちょっと昔の12月風景■



▲駅前雑踏

昭和55年 70160



▲「カニ」カンヅメ工場(越前町)

昭和34年 60372



### ■12月の開館日カレンダー■

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

は休館日です

### ■ご利用案内■

開館時間 午前9時から午後5時まで

■フレンドリーバスをご利用ください■

## ■今月の展示■

越前若狭の人びとは、自ら目にした出来事や、聞いた噂を、さまざまな形で記録してきました。福井に残されたそれらのローカルな資料には、遠く離れた江戸・大坂の出来事やその風聞を記録したものや、異国まで見通すグローバルな視野をもつものもあります。

展示では、江戸時代から幕末・維新期の「ふくい人」の目を通して見た、さまざまな出来事を紹介します。

江戸時代・幕末維新期の「ふくい人」は見た！！私ものぞいてみたいぞ！！



福井県文書館 11・12 月月替展示

# ふくい人はみた！

## 異国

2016年（平成28）

10月28日 | 金 |  
12月21日 | 水 |

福井県文書館 閲覧室  
開館時間 9:00 ~ 17:00 入館無料

## 災害

## 大事件

